

正誤表

『PT・OTのための運動学テキストー基礎・実習・臨床』第1版補訂2版 第1刷（2023年1月31日発行）に誤りがございました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

2025年12月3日

金原出版株式会社

記

頁	訂正箇所	誤	正
104	上から1行目～4行目	肩甲骨の挙上は僧帽筋上部線維，肩甲挙筋，小菱形筋，大菱形筋が行う。僧帽筋上部線維は鎖骨を挙上し， <u>肩甲骨の挙上も肩鎖関節を介して鎖骨を挙上する。</u> 肩甲骨の下制は <u>小胸筋，僧帽筋下部線維</u> が行い， <u>広背筋と大胸筋腹部線維は肩甲上腕関節を介して，小胸筋は肩鎖関節を介して肩甲骨を下制する。</u>	肩甲骨の挙上は僧帽筋上部線維，肩甲挙筋，小菱形筋，大菱形筋が行う。僧帽筋上部線維は鎖骨を挙上し， 肩鎖関節を介して肩甲骨を挙上する。 肩甲骨の下制は 僧帽筋下部線維，広背筋，大胸筋腹部線維，鎖骨下筋 が行う。広背筋と大胸筋腹部線維は肩甲上腕関節を介して， 鎖骨下筋 は肩鎖関節を介して肩甲骨を下制する。 また，小胸筋は単独では肩甲骨の挙上であるが，僧帽筋下部線維と協働して肩甲骨の下制に働く。

以上